

議会だより



なきじん

No. **153**
H31年3月1日
発行



過去最高52,055人の入城があった第12回今帰仁グスク桜まつり



もくじ

一般質問と答弁	2 p
議決結果・賛否一覧表	12 p
意見書	14 p
旧梯梧荘取得から 土地処分可決までの経緯	15 p
現場踏査・研修会・編集後記	16 p

一般質問

12 月定例会

会期日程 (12 月 18 日～25 日)

9 名が一般質問しました 12 月 19 日～21 日 (通告順)

P3	吉田 清尊 議員	<ul style="list-style-type: none"> ① 沖永良部島和泊町・知名町と友好都市協定締結を！ ② 運天漁港 古宇利漁港の施設整備促進について ③ 運天港の冷凍冷蔵施設の早期運用について ④ ゴミ収集車の新車購入を進めることについて
P4	與那 勝治 議員	<ul style="list-style-type: none"> ① 村有財産売り払いについて ② 災害時の対処について ③ 川の浚渫について ④ 火入れに関する条例
P5	座間味 邦昭 議員	<ul style="list-style-type: none"> ① 村民経済力の向上について ② 人気スポットであるハートロックへの進入路について
P6	與那嶺 透 議員	<ul style="list-style-type: none"> ① 村道与那嶺諸志線の危険木撤去について ② 村内イベントの開催時期について ③ コミュニティバスについて ④ 今帰仁村運動公園の、中長期的な利用計画及び整備計画について
P7	嘉陽 崇 議員	<ul style="list-style-type: none"> ① コミュニティバス導入について ② 村営住宅建設について
P8	島袋 誠 議員	<ul style="list-style-type: none"> ① ゴミ袋料金低減化・形状変更について ② 移住・定住促進事業について ③ コミュニティ・スクールについて ④ 副村長人事について
P9	上原 祐希 議員	<ul style="list-style-type: none"> ① 村有地売却について ② 自然災害の対応について ③ 観光振興について
P10	玉城 みちよ 議員	<ul style="list-style-type: none"> ① ふるさと納税について ② 今帰仁まつりについて ③ 台風災害の対応について ④ 子育て支援について
P11	山城 太 議員	<ul style="list-style-type: none"> ① 農道の整備について ② 村一般家庭ゴミについて ③ 災害被災者支援について ④ 教育行政について

●の数字は掲載された質問です。それ以外の質問は紙面お都合上割愛されています。本会議録については各字公民館に配布の予定です。
詳しく調べたい方は、公民館もしくは議会事務局までお立ち寄りください。

問1 沖永良部島和泊町
 知名町と友好都市
 協定締結を！



吉田 清尊 議員

北山王の次男世之主・真松千代から600年以上続く、今帰仁と沖永良部島の長い結びつきの歴史をこれから千年の強い「絆」を結ぶ礎として、今帰仁村と沖永良部島和泊町・知名町と友好都市協定を締結する考え、計画があるか。村長の見解を伺う。

答 喜屋武治樹村長

沖永良部島和泊町・知名町とは、歴史的にも深いつながりがあり、これまでも両町の職員が本村を訪れるなど、交流を深めてきた。友好都市協定を結ぶことについて、時期や内容を検討

していくことを確認しており、今後、前向きに話を進めるべく、担当者を決めて実務者レベルの協議を進めていきたい。



北山王と王姫も友好都市協定に大きな期待を寄せる!!

問2 運天漁港古宇利漁
 港の施設整備促進

今帰仁村の水産業発展には、漁港の施設整備の充実強化が不可欠である。運天漁港と古宇利漁港の施設整

備について。

運天漁港の製氷機・貯蔵庫と給油施設が小型で老朽化し、修理も行われてきた。水の生産や給油に時間を要し、漁船が待機することがある。老朽化の解消と近年の漁船の大型化に対応できる新しい大型の製氷機・貯蔵庫と給油施設の早期設置について。

答 村長

運天漁港の新たな大型製氷機・氷貯蔵庫と給油施設については、ご指摘の施設の老朽化等の状況について、村としても把握している。新たな大型製氷機等の整備については、これまでも村漁業協同組合と調整を重ねてきたところだが、さらに加速し、対応できる補助事業の検討を進めていきたい。

問 古宇利漁港の漁船巻き
 上げ機(ウインチ)は老朽
 化している。近年の漁船の
 大型化への対応も厳しい状
 況である。新しい大型の漁
 船巻き上げ機の早期設置に

ついて。

ついて。

答 村長

古宇利漁港の新たな漁船巻き上げ施設の早期設置計画については、漁業組合と十分調整をし、対応できる補助事業を検討する。

問3 今帰仁冷凍冷蔵施
 設の早期運用

運天港の「今帰仁冷凍冷蔵施設」が完成したが、施設の運用が遅れている。本部港、那覇港の冷凍冷蔵施設は多くの品物で満杯の状況である。北部地域の農林水産業者、加工業者、ほか多くの関係機関、関係者が「今帰仁冷凍冷蔵施設」の運用開始を待ち望んでいる。運用開始の予定日はいつか。1日も早く運用開始する村の対応、計画について村長の見解を伺う。

答 村長

現在、今帰仁村で使われている2台のごみ収集車(パッカー車)は購入してから長期間になり、老朽化が進んでいる。繰り返し修理も行われた。「ごみ収集業務は村民の生活に不可欠な基盤・インフラです。」ごみ収集車が故障で使えないと、村民への悪影響が懸念される。2台の新車のごみ収集車の早期購入に取り組み考え、計画について、村長の見解を伺う。

問4 ごみ収集車の新車
 購入

ごみ収集車は老朽化し、現在、村西側の回収にあたってはゴミ収集車が故障しており、修理を進めるとともに購入についても検討している。起債を含めた財源の確保について確認中で、早急な対応を目指す。

答 村長

運用開始については、平成30年12月末に運用開始する予定。



問1 村有財産売り払い



與那 勝治 議員

梯梧荘跡地が企画提案型から一般競争入札へと変更し公募された。大事な村有財産の処分方法について事前に議会へ説明すべきであると考えるが。

答 村長

議会の議決に付すべき財産の取得または処分に関しては、事前説明を行いたい。

問 去る6月に一般質問を行った際にも同様の答弁があった。なぜ1回目の応募がなかった段階で募集を止め、説明を諮ることができなかったのか。

答 村長

今後梯梧荘跡地で宿泊業を営み、観光事業を行うところであればいいということ

答 企画財政課長

今後梯梧荘跡地で宿泊業を営み、観光事業を行うところであればいいということ

とで入札をかけ、実績ではなく、梯梧荘跡地を活用していただけの会社が入札できるような条件をつけた。

問2 災害時の対処は

台風等の自然災害が発生した際の避難場所について、現状はどうなっているか。

答 総務課長

役場側が開設しているものとして、コミュニティセンター、去る台風時については橋の閉鎖の関係もあり、古宇利サブセンターも依頼をして開設した。各字にある公民館についても協力依頼をかけている。

問 各公民館を開放できないか。

答 総務課長

従来、台風の進路で避難が予想される場合は、文書によって各公民館にお願いしているが、開設の状況が100%に至っていない。公民館も避難所として開設できるように協力依頼をしていきたい。

問3 川の浚渫

大井川の浚渫の状況は。

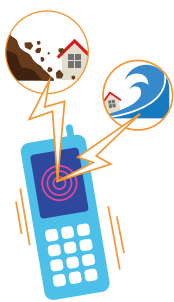
答 建設課長

現在、呉我山の河川を1月末まで浚渫工事を行っている。終わり次第、大井川の浚渫を県のほうに要望していきたい。

問 崎山と平敷の間に架かる港橋をはさんで陸側は川も浚渫され、きれいに整備されているが、海側は土砂も堆積し、きれいな川から流れ出た水が一気に土砂にあたって畑に入るような状況である。一日でも早く浚渫をしなければいけないと思うが。

答 建設課長

橋から下流側はトラックが横づけできる場所がなく、海側から徐々にやっていかないといけない状況。見積もりを取りながら今後検討させていただきたい。



問1 村民経済力の向上



座間味 邦昭 議員

県は、地域の均衡ある発展のため、各市町村民所得の推計を行っており、地域経済力を表す指数として、データから地域経済の発展を読み解く事ができる。地域経済力向上が自立発展の基礎だと考えるが、データから読み解く村が抱えている問題点、及び今後の対策は。

答 村長

今帰仁村は、村民所得が県内最下位で、完全失業率も8.3%とワースト2位なっている状況で、今後、農業をはじめとする各種産業の振興に取り組んでいく。

問 村民所得データの確認のため、県の企画分析班のため、県の企画分析班の班長以下4名の職員とデータを読み解いた。村の農業は、豊見城市よりも一人当たりの農業生産額は上回っており、村民所得は一次産業に支えられ、他の地域に比べ、三次産業の弱さが村民所得の低さだと分析した。しかし、データから農業も、家族経営の零細経営で後継者不足等の問題を抱えている。

答 村長

これまで、農業を中心にして観光業、それから商工業、六次産業を含めて総合的な施策をやってきたが、今後一次、二次、三次を含めて新しい事業を導入し雇用効果含め経済力向上のため努力していきたい。クルーズ船の受け入れについても、本部、今帰仁の連携が一番大事だと思っている。実際の受け入れに向けての視察も、本部町と連携して調整していきたい。

村は観光立村を唱えており、一流の観光地となる上で、私なりに3つの要素があり、1つ目は歴史文化。2つ目は自然環境。3つ目は食べ物、地元の農水産物を食す。が大切な要素だと思うが、その3つの要素を

問 データには裏付けがあり、各種データから村の現状を把握し、問題点や可能

性を数字から紐解き、的を得た施策を打っていく必要があるのではないか。

答 副村長

現状を裏付ける証拠がまさにデータである。それを把握し、次にどうすべきかが初めて考えられる。今後は様々なデータを分析し今後の政策にいかしていく。

問2 ハートロックへの進入路の安全対策

人気スポットのハートロックへの進入路が、安全対策上危険な状態であるが、自然環境に配慮した整備の必要性を伺う。

答 建設課長

保安林や近隣地主等の問題はありますが、観光客増に伴い整備の必要性を調査し、補助事業で整備するのは厳しい状況ではあるが、財政課と調整し、環境に配慮した進入路整備を2カ年を目途に調整していきたい。

平成31年3月定例会傍聴へ行こう！

平成31年3月6日(水)～25日(月)までの会期予定です。

一般質問日程は19日(火)・20日(水・午後)・22日(金)の予定ですが、詳細については事務局までお問い合わせください。

～あなたが選んだ代表がどのような活動をしているか村議会を傍聴してみませんか？皆様の傍聴をお待ちしております～

お問い合わせ

☎0980-56-4397 議会事務局



與那嶺 透 議員

問1 村道与那嶺諸志線 危険木撤去

今にでも倒れてしまいうな木が2本並んでいるが早急に撤去する考えは。

答 村長

個人の所有地にあり私有財産であることから、原則的に所有者が責任を持って対処すべきだと考える。

問 村長はどの程度危険だと認識しているか。

答 村長

かなり危険だと認識している。これまで2回所有者に対し内容証明付きで危険木であり、撤去を申し入れる文書を送付しているが返事がない。万が一倒木した

場合、村道があり、村の責任は全くないとは言えない状況であることから、3回目

目の送付後何らかの返事がない場合は、所有者の同意

なくとも危険木ということ

で村が処理してもいいのかどうか弁護士と相談して

いきたい。

問 一刻も早い撤去が望まれているが。

答 建設課長

スピード感を持って対応していきたい。

問2 村内イベント開催時期

マジックアワーランの開催時期については、2月の後半、グスク桜まつりの後

に開催するのはどうか。今帰仁村の魅力を最大限発信できる時期に開催し、観光につながるかと考えるが。

答 経済課長

実行委員会ですういった意見もあると伝える。

問 今帰仁まつりの開催時期

答 村長

第9回大会は会場を村総合運動公園に移したが、10月後半になると季節的にかなるの強風が吹き、条件も悪くなる。夏場での開催が検討できるか等、実行委員会へ提案していく。

問 会場へのシャトルバスは出せないか。

答 総務課長

実行委員会へ提案する。

問3 村総合運動公園の中長期的な利用計画及び整備計画

テニスコートと多目的広場の間の盛り土の撤去。

答 教育長

運天漁港浚渫工事からの盛り土で、県の指導により民有地への搬出は禁じられており、また、漁港内での処理も厳しいことからやむを得ず保管している。今後は、農道等の災害箇所への盛土材や路盤材として活用し、速やかな撤去に努めていきたい。

問 2020年国民体育大会九州ブロック予選ホッケー競技受け入れは。

答 教育長

予算の兼ね合いもあるため現在、沖縄県ホッケー協会と村とで調整中。

問 スピード感を持って結論を出していただきたいが。

答 社会教育課長

前向きに進めていきたい。

問 補助金を活用しての芝生の張替えは。

答 教育長

平成17年度に北部振興事業にて芝生の張替えが行われており、現在検討していない。

問 順当にいけば約15年後に国民体育大会の開催が沖縄県に回ってくると考えられる。スポーツ振興くじ助成金を活用し、人工芝への張替えを検討しては。

答 社会教育課長

人工芝は非常にメリットがあると痛感しているが、今帰仁村総合運動公園基本計画というのがあり、見直しを早急に行っていきたい。





嘉陽 崇 議員

問1 コミュニティバス

コミュニティバスの利用目的について、いつ・どこで・誰が利用できるのか。

本的にコミュニティバスが路線バスと同じ国道505ルートを運行することは、現段階で計画にない。

答 村長

平日や土・日・祝日を含め、交通空白地の高齢者や学生など、交通弱者が通院や通学、部活動、買い物などに利用することや、観光客が観光コースに利用するなど予想される。

問 民間バスが運行されている国道505号沿いの住民の利用法は。

答 村長

国道505号沿いの住民の利用法については、基

部半島名護線の運賃定額化や定期券の導入について、関係者や近隣市町村と協議を持つ予定はないか。

答 村長

地域公共交通会議については、今帰仁村を運行する路線バス本部半島線の料金設定について、時期をみて沖縄県、名護市、本部町、バス事業者と会議の開催に向けて調整する予定。

負担リスクを解消することができないか。

答 村長

運行業者については、実証実験を行う中で、実験結果、収支の実態、財政的な負担を総合的に勘案して、今後の本格運行を検討しつつ運行業者選定を行う。

問 現在の進捗状況は。

答 総務課長

平成31年度に計画書の作成を行い、平成32年度からの実証実験を行う予定。

問2 村営住宅建設

候補地が農業振興地域であった場合、宅地への変更は可能であるか。

答 村長

農振法に基づき事前に農用地区域から除外する手続きが必要となる。ただし、市町村が土地収用法対象事業のために転用する場合は、許可不要。

問 建設地として、適当だと考える場所は。

答 村長

候補地としては、土地に何らかの規制があるか、あったとしても規制解除の手続・交渉が進めやすいか、子供たちにとって安心安全な周辺環境か、十分な広さが確保できるか、地盤や土地の形状が住宅建設やインフラ整備に適しているかなどの条件を満たす土地が望ましいと考える。

答 村長
路線バスとコミュニティバスの役割については、コミュニティバスは路線バスの既定路線から外れた交通空白地を補う形で運行するものと考えている。

問 地域公共交通会議において、路線バスと連結した際の料金設定について、名護方面への通院等にバスを利用する住民もいるが、本

利用する住民もいるが、本



問 低運賃の設定を行った場合、収支が低くなり財政的な負担となるリスクがあると考えますが、バス会社に委託することで、財政的な



問1 ゴミ袋料金低減
化・形状変更

有料化に至った経過は。

答 住民課長

毎年ごみの量が増える一方で、清掃組合を中心とした処理施設にも支障を来すということ、ごみの減量化、リサイクルの推進、ごみ処理費用の負担の公平性、住民意識の向上が目的で導入に至った。

加等の要因で増加が予測される。

問 可燃ごみ減少に向け、生ごみ減少に期待される生ごみ処理機等の補助はないか。

答 住民課長

購入価格の2分の1の補助制度があり、上限として電動式が3万、その他は5千円となっている。

答 住民課長

問 有料化実施後には減少したが、翌年には増加している。今年度の予測は。



島袋 誠 議員

問 有料化分をパッカー車補修等の経費に充てられないか。

答 住民課長

まだ有料化して間もないこともあるが、活用方法については検討したい。

問 最も需要がある45リットル袋の結びやすい工夫がされた形状変更は必要ではないか。

答 住民課長

実施に当たっては住民の声を聞きモニター検証、アンケート実施等検討している。

問2 移住・定住促進事業

計24回のワークショップの参加者数は。

答 総務課長

字別の参加者数は把握していないが、学校区単位で開催されたワークショップでは延べ109名の参加があった。

問 補助率2分の1で今帰仁村からも多額な金額を投入しての事業であるので、もっと住民参加型にできないか。

答 総務課長

次年度も継続していく事業であるので、たくさんの方に参加していただきたい。役場職員や実際に移住されている方にも広く呼びかけていきたい。

問 村のPR動画の作成もすると思うが、たくさんの方に観てもらうためSNSの活用を含め動画配信できないか。

答 副村長

作成する動画の著作権は今帰仁にあるので前向きに検討する。

問3 コミュニティ・スクール

コミュニティスクールは教育課程を地域と共有し、地域・社会で子供を育てる開かれた制度である。全国

的にも沖縄県も右肩あがり導入する学校が増加しているが、今帰仁村も検討してはどうか。

答 教育長

先進地視察研修も検討し、情報を集めて検討していきたい。

問4 副村長人事

約2年前から内閣府から出向し、住民からも慕われており、役場職員のスキルアップ研修、SNSでの事業内容を公表したり、今帰仁村の良いところを配信している副村長の任期をあと2年継続できないか。

答 村長

村民からも高く評価されていることは認識している。地方自治法上議会で4年で承認されたが、内閣府との期限があり2年間、本年3月まで任期を全うしてもらいたいと考えている。



上原 祐希 議員

問 1 村有地売却

一般競争入札は法令上、入札参加資格を定めないので原則だが、今回入札参加資格を設けている。村としての考えは。

答 企画財政課長

梯梧荘の観光施設をそのまま活用してもらいたいと考えて、観光事業を行う計画のある事業者を条件付けた。

問 観光事業でやっているとうと入札参加資格を付した中で、定款に旅館業を記載してない事業者が選定された。定款とは法人の組織活動について定めた根本的な規則。基本的な規則に観光

業、旅館業がうたわれていない事業所の選定に疑義があるが。

答 企画財政課長

公有財産管理運用委員会の審議の中で、観光事業、ホテル事業を条件付け、新規参入を拒むものではなく、実績のない会社であっても、これから事業を行う所であれば入札を認め、定款にうたわれていない会社でも、事業計画書が出せるなら認める事になった。

問 2 自然災害の対応

平成30年台風24号緊急支援事業、台風24号被災施設整備等対策事業を村ホームページで発信しているとの

事だが、それ以外の情報発信も積極的に行えないか。

答 経済課長

広報、農業委員、農地利用最適化推進員、JA、区長会等連携し、早く農家に周知出来る様に努力する。

問 台風24号襲来時、今泊区のみなと川の505号線

に架かるボックスカルバート周辺で増水により大きな丸太等が道路に打ち上げられた。県へ要請等行いながら、引き続き早期に解決できるよう求めるが。

答 建設課長

ボックスカルバートは県の農林水産部へ毎回要望している。根気強く今後も要請していく。

問 今泊区白浜は今年砂の除去をしたばかりだが、台風24号の際もかなりの砂が

飛ばされ、民家や宿泊施設と砂浜の間の道に堆積し、車の通行にも支障が出た。砂の除去要請を毎年積極

的に行えないか。

答 建設課長

県へ要請しながらやっていきたい。

問 3 観光振興

クルーズ船受け入れが平成32年度とあまり期間もないが、名桜大学の国際観光学科の学生や、留学生など、海外旅行客の目線をそいういった学生との連携で地元へと落とし込む事が重要と考えるが。

答 経済課長

行政のみの対応では本当に厳しい。名桜大でのシンポジウム、やんばる観光市町村等連絡協議会等も踏まえて進めていく。

問 自然体験型観光では本

村は素晴らしい自然を体験できる土壌がある。事業者、観光協会とも連携しながら本村を堪能できる観光プランの策定、名護市、本部町との広域的な観光プランを

策定し、オプショナルツアーに組み込む努力が必要では。

答 経済課長

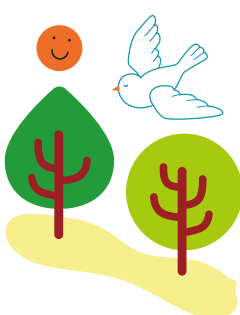
本部町、美ら島財団など関係機関と連携し、プラン策定に努力する。

問 キャッシュレス対応が

海外では進んでいるが、M・I環境がないと出来ない。クルーズ船寄港による、インバウンド対策含めた観光振興に対して、情報インフラ整備は必要。北部広域での未整備地域と連携して、北部連携促進事業での適用は出来ないか。

答 副村長

北部連携促進事業においても可能性を探りながら検討中。





玉城 みちよ 議員

問1 今帰仁まつり

次年度の節目にあたり、スポンサーネーミングを取り入れたプロジェクトのマッピングや、ネーム花火の打ち上げ、グルメグランプリの開催などの考えは。

問2 台風災害の対応は

台風等災害時における住民のライフラインの早期復旧及び情報提供、避難所設置や避難の際に支援が必要とされる方への対応は。

方々は、自宅崩壊や倒木の心配など心労は絶えないと思うが、遠方の親戚らが連絡も取れるような携帯電話の充電、また医療用酸素が必要な方々が安心して避難できるような、せめて避難所だけは、非常用発電機の設置が必要と感じるが、当局の考えは。

問3 子育て支援

保育所の待機児童の状況、及び適正な保育士の配置、就学前の小学校との連携は。

答 教育長

12月1日現在、保育所待機児童はいない。保育士の配置については、各年齢児とも国の基準等に合わせ、適正に配置し、就学前児童の小学校との連携については、保育指針や小学校経営方針を踏まえ、隣接する小学校と交流体験などを行っている。

答 教育長

現在の配置数は、集団での学びの価値を考慮しての定数だと思いが、まずは、目の前の課題解決を考え、国が15名を奨励していることも意味があり検討に値すると考える。

答 村長

一括交付金事業なので、予算の規模を全体的に増やすには、非常に厳しい面もあるかと思うが、村民はじめ民間、個人、企業へ事前募集を掛け、ネーミング花火（出産誕生記念・新築記念・結婚記念・会社創立記念）など、10回大会にふさわしい祭りに早めに、課題と新しい取り組みについて協議していきたい。

答 村長

早期復旧に向けた迅速な対応、及び情報提供を今後事業者へ要請していく。防災無線によるコミュニティセンターへの自主避難の案内放送や、村ホームページでの避難所開設の周知を行うほか、要支援者として把握している方々には直接、職員が向うくなどの対応をしている。

問 避難を余儀なくされた

非常時の充電については、可能な限り、役場は対応していきたい。

答 総務課長

台風災害により、長期の停電でライフラインが切断され困っている村民に対して、役場内での「携帯充電サービスカウンター」の設置案内が必要ではないか。

問 台風災害により、長期の停電でライフラインが切

答 幼保連携推進室長

0歳児が3名に対し保育士1名、1歳2歳児が6名に対し保育士1名、3歳児が20名に対し保育士1名、4歳児が30名に対し保育士1名となっている。



問1
農道整備

雨天時に土砂が流出し通行に支障をきたし、農地へ行くことが困難になる箇所が確認できるが、今後の対策について村の見解は。

答
村長

農道の整備については、農林水産省の農道整備事業により整備しているが、同事業の要綱では、農業の振興を図る地域において、農道網を有機的かつ合理的に整備することにより、高生産性農業を促進し、もって農業の近代化を図り、合わせて農村環境の改善に資するもののみ採択されることとなっている。通行に支障

をきたしている農道が、採択基準に該当するのであれば、今後同事業での対応を検討する。

問 雨の後、自分で機械を借りてきて整備するが、そういった費用は、補助等は可能か。

答
経済課長

現時点で、整備費用の補助については予算計上の状況になく、現在、村担当課で重機を使用し、整地している。

問 農家の方々も一生懸命生活するのに、あちこち農地を借りているが、農家の声を、要望を、極力聞き、農業に対する支障を極力抑

えていただきたいが。

答
経済課長

高額補助があるかどうかの情報収集と、農家の要望に対し、優先順位をつけ、予算の範囲内で整備を考えている。

問2
災害被災者支援

火事や台風等で住宅の消失や倒壊により、居住不能になった方々への一定期間の住居の提供支援の充実に

答
村長

災害被災者支援については、一定期間の住居の提供は本村では行っていないのが現状であるが、被害を受けた方に対して、村、及び県から見舞金の助成を行っている。そのほか、県内の公益財団法人や、公益社団法人による支援メニューの紹介等も行っている。

問 住宅が消失や倒壊により居住不能になった場合、

住居の支援は現在ないということだが、検討なされてはどうかと思うが。今帰仁村にも空き家が幾つかあると思うが、その辺も村が借りて、そういう方々を支援するなり、ある程度の期間を区切ってフォローする考えはないか。

答
福祉保健課長

まずは福祉保健課で支援メニューがある。一点目は公益社団法人沖縄県就職・生活支援パーソナルサポートセンター北部と、二点目公益社団法人沖縄県母子寡婦福祉連合会ゆいはあと北部による住宅支援がある。

災害による住宅の消滅のケースにより支援することになるが「ゆいはあと」は母子世帯への生活支援の一つとして住宅支援があり、敷金礼金や月々の家賃等の費用負担はなく期間は一年間となる。

問 村が主体となって、そ

ういった支援、提供ということを考えていく予定はないか。

答
総務課長

村が定めている防災計画の中に、災害緊急対策計画ということで、住宅の補給対策の計画には載せられているところもある。今回議員がおっしゃられた部分については、福祉保健課等で、いろいろな災害に遭われた方々への救済情報等も含めて、提供していかないとはいえない部分もあるので、それと同時に検討していきたい。



山城 太 議員

議決結果・賛否一覧表

「○」：賛成 「×」：反対 「欠」：欠席 「退」：退席 「公」：公務の欠席 「病」：法定伝染病の欠席。
議長は採決に加わらないため斜線としていますが、可否同数の場合に採決権があります。

議案番号	議案	議決結果	議席	1	2	3	議長	5	6	7	8	9	10	11
			氏名	島袋誠	上原祐希	與那嶺透	座間味薫	座間味邦昭	吉田清尊	玉城みちよ	與那勝治	山城太	與儀常次	嘉陽崇
第1回臨時会 1月10日(木)														
議案第1号	今帰仁村体育施設の設置及び管理に関する条例及び今帰仁村村民の浜の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	工事請負契約について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	平成30年度今帰仁村一般会計第9回補正予算について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
第2回臨時会 1月28日(月)														
議案第4号	土地の処分について	可決	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○
議案第5号	平成30年度今帰仁村一般会計第10回補正予算について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○

題字

議会だより「なきじん」の題字を募集します。

募集

題字募集のサイズ
たて4cm×よこ12cm
ひらがな横書き
締め切り **5月1日(水)**



今帰仁村内小学校のみなさん、
あなたの文字をお待ちして
おります。



お問い合わせは、今帰仁村議会事務局 (☎56-4397) まで



12月定例会において採択された意見書

米軍普天間基地の5年以内運用停止の遵守を求める意見書

普天間基地の5年以内の運用停止については、安倍晋三首相が普天間基地負担軽減推進会議の第1回会議（2014年2月18日）において、沖縄県民全体の思いとして、しっかり受け止め、「政府としてできることは全て行う」と述べるなど、政府としての見解が示されてきたところである。

普天間基地はその運用による騒音被害とともに、昨年来、立て続けに起きた普天間基地所属の米軍機の墜落、エンジントラブル、部品落下事故等により、基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている地域住民は、常に生命の危険にさらされ続けている状況である。

よって本村議会は、命を脅かされている地域住民、とりわけ基地被害におびえる子どもたちが、安心安全な生活を送ることができることを心から願い、「5年」の期限を迎える2019年2月18日には、「普天間基地の運用停止」を確実に実現することを強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年12月25日

沖縄県国頭郡今帰仁村議会

宛先：内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣

附帯決議

12月定例会では、10名の議員から、第45号議案「今帰仁村体育施設の設置及び管理に関する条例及び今帰仁村村民の浜の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例」の使用料、及び利用料の設定について、指定管理者と協議を行ったうえで事業を実施するよう村に求める付帯決議が提出され、全会一致で可決された。

附帯決議の内容は以下のとおりです。

今回提案された議案第45号について、利用料・使用料全般において、指定管理者と協議のうえ決めなければならない。

よって、下記の事項を提案する。

記

利用料・使用料全般において、上限額撤廃を検討し、上程することを求める。

以上決議する。

平成30年12月25日

沖縄県国頭郡今帰仁村議会

附帯決議とは・・・議案を議決する際に付け加えられる議会の要望のことをいいます。
法律的な効果(強制力)はなく政治的に尊重されるべきものとされています。

平成31年議案 第4号 土地の処分について（旧梯梧荘取得から土地処分可決までの経緯）

年月	経緯
S52年 6月	梯梧荘設立（公立学校共済組合保養所）
H19年 3月	梯梧荘閉鎖
H22年 1月29日	財産の取得について同日提案・可決 106,800,000円（土地・建物）
H22年 2月15日	不動産売買契約書 村⇄公立学校共済組合
H22年11月 1日	村⇄ゆがふホールディングスと貸借契約 期間H22.11.1～H27.3.31 年額460万円
H26年11月12日	(株)ゆがふホールディングスから村有財産賃貸借契約解約通知書の提出。契約終了H27.3.31
H27年 5月13日	管理運業者選定委員会3回目 答申内容の確認等 答申 第1候補オリオンビール㈱ 同日：選定通知
H29年10月23日	オリオンビール㈱から村へ梯梧荘跡地事業化しない方針の報告
H29年10月26日	村からオリオンビール㈱へ梯梧荘跡利用に係る協議終了の通知
H29年10月30日	公有財産管理運用委員会梯梧荘跡利用専門部会を設置 「条件付一般競争入札の方式」の検討
H30年 6月 6日	入札案内 受付期間6/11～8/10 応募なし
H30年 8月20日	2回目入札案内 受付期間8/20から9/28・・・ 6社申込み 5社入札
H30年10月22日	開札（落札：TONYカンパニー合同会社）288,888,000円
H30年11月19日	臨時会で提案（跡利用：既設建物のリニューアル）
H30年11月30日	全員協議会（議会）で状況説明
H30年12月 3日	第6回臨時会にて否決
H31年 1月28日	臨時会で再提案（可決） 跡利用：「事業規模（構想）の変更」、協力事業者「高橋ホールディングスとの協定」、「本社所在地今帰仁村へ移転」、「会社資本金の増

旧梯梧荘利用計画イメージ図

① 宿泊棟（低層）
シングル：40室
ツイン：20室

② スパ棟
大浴場：2室（男女）
エステ：2室（男女）

③ ロビー棟
エントランス（受付）
小売店舗

④ レストラン棟
レストラン
テラスラウンジ

⑤ 宿泊棟（高層）
デラックス：120室
スイート：20室



現場踏査

◎現場踏査は村が発注した事業、及びその他の事業の進捗状況を直接現場に出かけて調査するもので、定例会の会期中に行われています。



▲ハートロック(古宇利渡海原)



2月15日南風原町中央公民館において、「町村議会議員・事務局職員研修会」が開催され、本村議会議員事務局職員が参加した。研修会は、県企画部市町村課長による「市町村行財政等の状況」、政治ジャーナリスト泉宏氏による、講演が行われ、議員らは研鑽を積んだ。

研修風景



▲平成30年12月20日から稼働、今帰仁冷凍冷蔵施設(冷凍庫)・運天港内



▲2月定例監査を行う(右手前から)山城清光代表監査委員と嘉陽崇議選監査委員

1月29日から2月21日までの間、役場各課の財務に関する事務の執行と経営に係る事業の管理が適正に行われているかを主眼とした定例監査が実施され、最終日には監査委員による現場踏査が行われた。

平成30年度 定例監査



兼次小学校(12月21日)



今帰仁小学校(12月20日)



天底小学校(12月19日)

村内各小学校6年生が、社会科授業の一環として「暮らしの中の政治」で議会を傍聴した。

議会スナップ

編集後記

◆若葉がいつせいに咲き、草花はその彩りを増して、大地を潤していく、そんな様子が目に入るうりずんの季節となりました。

3月と言えば卒業・進学・就職などのシーズンです。

新し世界へ羽ばたいて行く皆様へ、これからの活躍を多いに期待をしています。これからがスタートという気持ち忘れずに新しい路を邁進して下さい。

私事ですが、去る9月に初当選をさせていただき半年が過ぎようとしています。先輩議員とともに、皆が住みよい村づくりをしっかりと行っていきたいと考えています。

平成最後の議会だよりの発行となりましたが、これまで通り、多くの方に親しまれるような紙面づくりを心掛けていきます。

広報副委員長 嘉陽 崇

